

# JCES ニュース

*Japan Comparative Education Society*

NO.20

## 第47回大会のご案内

拝啓

会員の皆様におかれましては益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。

日本比較教育学会の第47回大会を、早稲田大学におきまして2011年6月24日（金）～26日（日）の日程で開催させていただきます。早稲田大学での本学会大会の開催は、2000年の第36回大会以来となります。今回は、早稲田キャンパスの19号館（大学院アジア太平洋研究科）と国際会議場を主な会場といたします。教育学部や文学部の喧騒からは少し離れ、比較的静謐な環境にあるかと存じます。

現在、徐々に準備を進めているところですが、日程としましては、ここ数年の大会では最終日に行われていたラウンドテーブルを金曜夕方に開催する予定にしております。また、自由研究発表のセッションを増やすことにより、会員の方々が多くの発表に参加できるようにしたいとも考えております。公開シンポジウムでは、教員養成の制度や改革の状況について取り上げる予定です。また、課題研究として、一つは「比較教育学はどのように教えられているか」（仮題）を予定しております。もう一つの課題研究は、学会の研究委員会の企画による「移民と市民：グローバル世界はどう理解されているか」（仮題）です。

土曜も授業が行われているなどご不便をおかけする点もあるかと思いますが、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

敬具

第47回大会準備委員会 委員長：長島 啓記  
副委員長：黒田 一雄  
事務局長：沖 清豪  
事務局次長：鴨川 明子

## 大会事務局連絡先

〒162-8644 東京都新宿区戸山1-24-1

早稲田大学文学学術院 沖清豪研究室内

Tel : 03-5286-3628 E-mail : jces2011@list.waseda.jp

(可能な限りEメールか郵便でご連絡ください。)

URL : <http://www.waseda.jp/assoc-jces/>

## 第47回大会の日程等

### I. 大会日程

2011年 6月24日～6月26日

	9:30	12:00	13:00	15:00	17:00	19:00	20:00
6月24日(金)		常任理事会		全国理事会		ラウンドテーブル	
6月25日(土)	自由研究発表Ⅰ 紀要編集委員会	自由研究発表Ⅱ	課題研究Ⅰ・Ⅱ		総会	懇親会	
6月26日(日)	自由研究発表Ⅲ	自由研究発表Ⅳ	公開シンポジウム				

\* 時間帯は大まかに示しています。

### II. 公開シンポジウム・課題研究

公開シンポジウムでは、教員養成の制度や改革の状況について取り上げる予定です。教育の質の向上を目指す改革の一環として、各国で教員の養成・研修が大きな課題となっておりますが、日本を含めた各国がどのように取り組んでいるのか、明らかにできればと考えております。

また、課題研究Ⅰとして、「比較教育学はどのように教えられているか」（仮題）を予定しております。大学の授業で比較教育学はどのように教えられているのか、どのように教えられるべきなのかということについて、比較教育学を冠する授業だけでなく、例えば教育制度学や教育行政学などの授業で比較的手法を用い各国の状況を取り上げている場合も含めて、検討したいと考えております。課題研究Ⅱは、研究委員会の企画による「移民と市民：グローバル世界はどう理解されているか」（仮題）です。

### III. 発表等の申し込み

自由研究発表等、2011年4月4日（月）を締め切りとして、Eメール（ないし郵送）で申し込んでいただくことを予定しております。詳しくは、大会案内をご覧ください。

### IV. 大会参加費等

大会参加費、懇親会費は、6月17日（金）までに、指定の口座にお振り込みください。6月18日以後は、当日料金での受付となりますので、ご了承ください。

		事前申し込み (6月17日まで)	当 日
大会参加費	正会員	4000円	5000円
	学生会員・臨時会員	2500円	3000円
懇親会費	正会員	3500円	4000円
	学生会員・臨時会員	3500円	4000円

\* 大会参加費・懇親会費の領収書は当日受付でお渡しいたします。大会当日までは振り込みの控えをお持ちください。

<大会参加費・懇親会費事前振込先>

ゆうちょ銀行 店名 ○○八 店番 008 普通 6347695  
名義 ナガシマ ヒロノリ

\* 詳しくは、別途お送りする大会案内をご覧ください。

## ■シリーズ 世界の比較教育学研究・教育拠点



## 高麗大學 教育問題研究所

韓龍震（高麗大學）

高麗大学教育問題研究所 (Institute of Educational Research : <http://kier.korea.ac.kr/>) の前身は、Global PRIDE Global LEADERである。1972年9月、韓国教育に対しての徹底した現実認識を基に、教育問題の解決と教育の質の向上を目指して設立された。主な事業の内容は①自発的な韓国教育理論生産、②比較国際教育③教授学習方法の研究及び開発、④統一教育に関する研究、⑤生涯教育及び人的資源開発、⑥人性教育談論及びプログラムの開発、⑦各種教育課程模型の開発などである。ちなみに、韓国には比較教育学の研究や教育だけに特化した



機関はない。そうした中で、本研究所は比較教育学に対して相対的に大きな比重が置かれている。

本研究所は1986年にユネスコ傘下機関であるAPEID（アジア太平洋地域教育革新プログラム：Asia-Pacific Program of Educational Innovation for Development）の国内協力機関に選定されており、1995年に研究所の付設機関として社会教育センター（現高麗大學生涯教育院：<http://edulife.korea.ac.kr/>）の設立以来、2005年脳基盤学習科学センター（Center for Brain-based Learning Science）及び2006年高等教育政策研究センター（Center for Higher Education Policy）を置くなど、総合研究所として発展した。

特に高等教育政策研究センターは、韓国学術振興財団から国内唯一の高等教育重点研究所として指定されており、2015年まで9年間に毎年約3億ウォン（100円=1340ウォン）の支援を受け、高等教育政策研究所（<http://hepri.korea.ac.kr/>）として国内外の高等教育分野の政策研究を担当している。また脳基盤学習科

学センターは、2009年教育学分野国内唯一のWCU（World Class University）事業機関として指定を受けて、頭脳動機研究所（<http://bmri.korea.ac.kr/>）に発展し、2013年まで5年間毎年約5億ウォンの支援を受けている。このように教育問題研究所は教育と研究分野のインキュベーターの役割を担ってきた。

2011年現在、教育問題研究所には国内及び海外で博士学位を取得した研究教授16名と研究員4名の20名が常勤し、高等教育政策研究所に専任教授3名と外国人の交換教授2名（アメリカとベトナム）、専任研究員4名、研究員4名、頭脳動機研究所には専任教授5名、研究教授3名及び大学院生18名が研究に参与している。

この研究所の主な事業としては国際学術会議の主催・共催、学術誌の発刊と外部からの課題の受託研究、学術総書刊行（研究総書、翻訳総書等）、コロキウム、学術踏査（年2回）、夏季・冬季休業中に教師志望学生に向けた「教育学特講」の運営等が挙げられる。研究所は1988年創刊の学術誌『教育問題研究』（年3回発刊）をはじめとして、『教育學用語辭典』（2007）、『中國高等教育史』（2008）、『兒戲原覽』（2008）等、経済性はないが重要な学術書籍の刊行を支援しており、大学院育成事業のBK21（Brain Korea）教育国際化事業団と共同で毎年BeSeTo（Beijing-Seoul-Tokyo）国際学術大会を開催している。その上、高等教育重点研究機関の高等教育政策研究所及びWCU事業機関の頭脳動機研究所等がそれぞれ毎年開催する国際シンポジウムにも参加する等、大学生及び研究教授たちの国際的力量を育成、強化しながら21世紀グローバル時代を迎える韓国教育国際化の拠点研究所の役割を果たしている。



## ■事務局からのお知らせ

### ●新入会員（2010年9月～2011年2月、入会申込み順）

申 育誠（東北大学大学院生）  
 平良 那愛（京都女子大学大学院生）  
 岡部 正義（東京大学大学院生）  
 上原 翔子（コーエイ総合研究所）  
 平田 文子（早稲田大学大学院生）  
 内藤 亜弥子（日本学生支援機構）  
 可部 繁三郎（日本経済研究センター）  
 山崎 泉（コロンビア大学大学院生）  
 長谷部 圭彦（日本学術振興会特別研究員）  
 坂口 真康（筑波大学大学院生）  
 金箱 秀俊（国立国会図書館）  
 佐藤 裕紀（早稲田大学大学院生）  
 林 透（北陸先端科学技術大学院大学）

（2011年2月13日現在の会員数 1,052名）

### ●紀要『比較教育学研究』バックナンバーの全文が公開されました

ニュースレター19号において、『比較教育学研究』が、（独）科学技術振興機構（JST）の実施するJournal@rchiveの掲載対象誌として選定され、昨年8月に創刊号（1975年刊行）から第17号（1991年）に掲載された論文等の全文が掲載された旨、ご報告致しました。その後、1月下旬に第37号（2008年）までの全号について掲載が完了致しました。JSTの掲載ページは、学会HPにリンクを貼っています。

なお、Journal@rchive上で公開する論文等は、その著作権が本会に帰属していることが条件となるため、論文等の著者に対して著作権譲渡依頼文書を発送し、ご協力をいたしております。著者の皆様のご協力に改めて感謝申し上げます。なお、著作権の譲渡に同意いただけない場合は、該当論文の掲載を見合わせる措置を取っております。詳しくは学会ホームページをご覧下さい。また、この点につき、ご不明の点がありましたら、事務局までお問い合わせ下さい。

### ●事務局移転について

現在、学会事務局は広島大学に置かれていますが、47回大会以降、次期事務局へ引継ぎ、本年7～8月にかけて完全移転を予定しています。次号のニュースレターでは新事務局の住所等をご連絡しますが、それまでは郵便物等の混乱が見込まれます。47回大会でもお知らせしますが、決定次第、

学会ホームページにも掲載致しますので、ご確認ください。

### ●年会費をクレジットカードでお支払いいただけるようになりました（海外在住会員限定）

この度、年会費をクレジットカードにてお支払いいただけるシステムを導入しました。学会ホームページから入力・支払の手続きが可能ですので、ご利用下さい。近年、海外在住の会員数が増加していますが、海外からは国内銀行への振込手続きが煩雑で手数料も高額であるため、利用しやすいクレジットカードを活用することに致しました。ただし、手数料が学会負担となることから、国内在住の会員については、これまで通り、以下の郵便振替または銀行振込をご利用下さいますようお願い致します。ご不明の点がありましたら、事務局までお問い合わせ下さい。

### ●年会費納入のお願い

本ニュースレターに、各会員の年会費納入状況を同封しています。必ずご確認いただき、未納分がある方は同封の郵便振替用紙にて早目の納入にご協力をお願い致します。会費は通常会員10,000円、学生会員6,000円です。紀要是年2回発行ですが、本学会では当該年度の会費納入を確認後、学会紀要『比較教育学研究』をお送りしています。3年を超えて会費未納の方は会員資格を失います。

[郵便振替口座] 00820-6-16161日本比較教育学会事務局  
 [銀行口座] 広島銀行西条南支店 普通 3126345

日本比較教育学会 一般

※銀行振込により納入される方は、入金の際に必ず事務局までご一報下さいますよう、お願い申し上げます。特に、所属機関名にて振込を行われる場合は、該当会員を特定することが難しい場合がありますので、必ず事務局へご連絡をお願い致します。

## 日本比較教育学会事務局

〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1  
 広島大学大学院教育学研究科  
 Tel & Fax (082) 424-6231  
 E-mail [jcesjimu@hiroshima-u.ac.jp](mailto:jcesjimu@hiroshima-u.ac.jp)  
 URL <http://www.soc.nii.ac.jp/jces/>